

平成 29 年度  
事業計画書

社会福祉法人 山王平成会

## 目次

法人本部	.....	1
ごしよの保育園	.....	4
かわしり保育園	.....	11
阿久和保育園	.....	17
西柴保育園	.....	24
阿久和キッズ	.....	31

# 平成 29 年度 社会福祉法人山王平成会 法人本部事業計画

## 1. 基本方針

平成 29 年 4 月から社会福祉法人改革が実施され法人組織の見直しが求められる。当法人にとって大きな組織改定としては、新規に評議員会を結成する必要がある。また、理事会との緊密な連携、組織の活性化に繋げていかねばならない。

一方で少子化の波、株式会社の保育業界への参入拡大、幼稚園から認定こども園の移行拡大、そして最近では国が中心となって企業主導型保育事業が推進されているため、よりいっそうの法人運営の強化、工夫が必要であると考えている。

まず課題を洗い出し、改善すべき優先事項の高い項目を着実に見直し足元を固めていきたい。具体的には、法人本部としては、園長、事務長を中心とした内部統制（園運営の充実化、効率化）を強化していく。

並行して、老朽化が進んでいる西柴保育園の新園舎の計画については、平成 29 年度から平成 30 年度末の 2 年間かけて法人本部も全面的にあらゆる角度から支援していく。

最後に、中長期計画の目玉としては、平成 29 年度から 3 年以内を目途に、新規園開設も視野にいれ、スケールメリットによる財政面の強化も事業展開の一つの選択肢として積極的に検討していく。

### < 第二種社会福祉事業 >

- ・ 保育所の経営
- ・ 小規模保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 病児保育事業

### < 各保育園の定員及び職員数（平成 29 年 4 月 1 日見込み） >

保育園名	定員	職員
ごしよの保育園	180 名	53 名
かわしり保育園	60 名	23 名
阿久和保育園	90 名	31 名
西柴保育園	60 名	24 名
阿久和キッズ	19 名	11 名
合計	409 名	142 名

## 2. 重点施策

下記の5項目については、法人本部と各園長、事務長と連携し、戦略的かつ協調性を持ち推進していきたい。

具体的な進め方については、園長会、四半期レビュー打合せ、職員会議の場等を活用し、各園の事業計画、中長期計画、財務管理についてPDCAサイクルを確実にまわし実行する。

### (1) 社会福祉法人改革の円滑な移行

今までは理事会が議決権を行使し法人運営を進めてきたが、平成29年度4月からはその役割は評議員が担うことになる。今後は理事会、評議員会との緊密な連携が必要になるため、運用していく中で必要に応じて改善を図り、有意義な法人運営を確立する。但し、年間の開催回数も頻度が少ないことから、中長期的な視点で構築していきたい。(原則としては定期的に毎年6月に実施、頻度：1~2回/年)

評議員会の円滑な運用が最優先項目となるので、法人本部が中心となり、評議員の方々意識的に十分なコミュニケーションをとる時間を確保し、お互いの信頼関係を築いていくところから始めていきたい。

今回人選したメンバーは、各種分野の有識者の方々ばかりなので、ゼロベースの発想による意見も大切にしながら法人の活性化に繋げていけたら良いと考えている。

### (2) 攻めの財務管理

平成28年度の財務実績をベースにより精度の高い予算編成を行い、予算進捗状況を示した四半期レビューを軸に年間通したマネージメントレビューを行う。

職員の処遇改善策については、国の動向を注視しながら、大胆かつ慎重に進め、職員のモチベーション向上につなげていきたい。また、処遇改善の支給方法についてもいくつか課題が見えてきたので、改善していく方向で検討していきたい。

人員の適正配置をより精度高く見直すことで、業務効率化の推進、作業負荷の軽減を図り、結果として委託費の支出削減につなげる。

計画的な積立金の立案に留まらず、積立金の使用時期・目的の明確化し、より効果的な資金運用を図る。(具体的には、H29年度より社会福祉充実計画にて立案)

### (3) 姉妹園における連携強化の支援

秋田・横浜の合同園長会は軌道に乗っているので引き続き支援していく。

次のステップとしては、平成29年度からは姉妹園交流をより推進していく目的で、各地区(秋田地区、横浜地区)独自で行う園長会も支援していきたい。

各地区の園長会については、実施する時期、頻度、議題内容等は、各地区の園長が中心となり取り纏め、無理のない形から運用スタートする形を考えている。

阿久和保育園(阿久和キッズ)、西柴保育園の連携強化を図る一環として、新園舎の開設も視野に入れ検討する。

狙いとしては、子どもたちとの交流の深化、職員の流動化による学び合いの場をより身近なものにすることで、保育・食育の充実化、保育の質の向上につなげていきたい。

#### (4) 園舎の老朽化対策に向けた効果的な積立金の活用

法人が設立してから15年が経過し、各園の老朽化が進んでいる。

民間移管後の園も老朽化が進んでいるため、建替え計画も十分に熟慮した上で、建替え計画を立案していく。

第一弾の取り組みとして、平成31年4月の西柴保育園の新園舎の開園を目指し、利用者、地域住民、関係する所轄官庁と十分な連携、調整を図りながら、資金面も含めて支援していきたい。

大規模修繕(外壁塗装、LED増設、園舎の中庭整備等)、園バスの購入(ごしよの保育園、西柴保育園)等も計画し、予防保全も踏まえた修繕及び、効果的な積立金の活用を図る。

#### (5) 前向きな職員採用

予算進捗を確認しながらの作業になるが、「職員が業務改善を十分に検討できる時間の創出」、「有給休暇を推進できる体制作り」、「各種研修・セミナーに参加しやすい環境の構築」、「人員の流動化の推進」等を見据え、必要に応じて職員採用を前向きに検討する。

中長期的な人材育成の視点も見据え、新卒の採用も継続的に実施していくつもりである。並行して、学校との信頼関係もより深めていきたいと考えている。

まずは、学生に各園のHPを閲覧してもらうことが重要になってくるので、「新卒採用の求人募集」、「園見学の案内」の書式変更を試みたい。(各園HPにリンクするQRコード導入等)

今後は、職員不足による採用という割合を減少させ、「保育の質を向上」、「職員が存在意義を感じ取れる、働きやすい職場環境の構築」する目的で必要に応じて採用していく。

また、求人のターゲットもより明確化し、優秀かつ必要な職員を採用する。

以上

# 平成29年度 ごしよの保育園事業計画

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 病児保育（体調不良児対応型）事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

保育園の現状としては、引き続き平成29年度も定員を180名としている。4月1日には162名の継続入所児が在園している予定である。また、年度中に入園する園児を含め、全部で198名の入園児を見込んでいる。

職員は、新たに保育士4名を迎え、予定としては常勤職員28名、非常勤職員25名の計53名のスタッフでのスタートとなる。加えて、常勤栄養士一名を追加で募集しており、採用検討中である。

平成28年度は、平成29年度受審予定の第三者評価に向けてマニュアルの見直し、改善を図った。職員にも周知し、一緒に考えてもらうきっかけとなるよう園内研究としても組み込み、若い職員からも積極的な意見が聞けるよう工夫しながら討論の場を重ねてきた。

園内の保育環境整備としては、電気機器のLED化、乳児室のマット購入、4・5歳児の椅子の購入（保護者会より負担分有）、跳び箱、パネルシアター板の購入を実現させることができ、保育教材充実化にも力をいれることができた。

地域との交流に関しては、職員の交流だけではなく、同地区小学校での幼保小の交流会（1年生・5歳児参加）を実現することができた。また、同地区中学校・高校・住民との合同避難訓練に招待していただき参加することで、地域の中の一員として自覚する機会になったのではないかと思う。

基本方針としては、乳児は24時間を見通した保育を心掛けることを特に重視し、年齢を重ねるにつれて生きる力の基礎を培うことに力を入れていきたいと考えている。また、障害児がいるクラスに関しては、「共育ち」の意味をしっかりと捉え、両者にとって有意義な生活の場となるよう指導計画の中に組み込んでいきたいと考えている。加えて、長時間生活している子ども達が安定して過ごすことができるよう配慮していくことが大切だと考える。

### 3. 重点施策

#### (1) 第三者評価受審（職員の共通理解・知識を深める）

29年度の第三者評価受審に向けて、27年度からマニュアルの見直しと改善に努めてきた。28年度は、そのマニュアルの周知期間と共通理解をテーマに園内研究を行なってきたが、マニュアルをベースとする周知がまだ徹底していない分野もあるため、上半期は園内研究を通して職員から意見を出し合う中で自分たちのものにしていきたいと考えている。

#### (2) リズムを深める

28年度は定期的に新しいリズムを追加しながら、リズムを通して成長する部分を大切にした指導をしていくことを重点とし、子ども達と楽しめるよう工夫してきた。しかし、職員の中でも理解度によって、子どもへの伝わり方にまだ差が見られることから、29年度も引き続き知識を深めながら、各リズムの特徴を活かした指導ができるよう取り組んでいきたい。

### 4. 施設整備及び備品等購入計画

#### (1) 施設整備

備品名	時期（予定）	予算（概算）	理由
新園舎電気機器のLED化	4～6月	1,782,000円	
非常警報放送設備	4～5月	500,000円	落雷による故障のため
第三者評価受審	秋頃	500,000円	第三者評価受審のため
除雪費	1～3月	500,000円	職員が寄せた雪が溜まった時の運搬費として
園バス		2,240,000円	現在使用しているバスの老朽化のため（かわしり保育園と折半の予定）

### 5. 部門別保育年度達成目標

（○ ごしよの保育園保育課程より、来年度の各クラスに合わせて考慮）

#### (1) 乳児保育部門

0歳児：○保育者の愛情のもと、一人一人の生理的欲求が満たされ、健全な生活を送る。

1歳児：○保育者に見守られながら、身近な人や物に興味を持ち、関わりを広げる。

身の回りの簡単なことに対して、自分でやろうとする気持ちを持つ。

2歳児：○保育者や友達と生活する中で、様々な事に興味や関心を持ち、自分でやろうとする意欲を持つ。

食物アレルギーを持つ子どもが多いため、保育者と保護者と連携を図り、子どもが安全に食事できるようにする。

#### (2) 幼児保育部門

3歳児：○保育者や友達とかかわる中で、自分の気持ちを出しながら遊びを十分に楽しむ。

身の回りの事象に興味や関心を持つ中で、様々な事に挑戦しようとする気持ちを持つ。

4歳児：○友達とのかかわりを通して、心を豊かにし、目的をもって行動する。

思いやりの気持ちを持ちながら、お互いに助け合って行動できるようになる。

5歳児：○友達と経験する様々な活動を通して、仲間の意思を大切にし、考えて行動できるようにする。

様々な活動に対して、自発的に行動することができるようになる。

### (3) 給食部門

- ・3歳以上児はもちろん、3歳児未満の子ども達に向けた食育活動として絵本の読み聞かせや食事中に関わる時間を確保できるよう努める。
- ・かわしり保育園との合同栄養士会を行い、各園の特性を理解し、それぞれの園での活動に還元していくようにしていきたい。
- ・地産地消を心掛け、県産食材を使った食事の提供に努める。
- ・機会を設けてクッキング保育をし、子ども達の食に関する興味関心を育てる。
- ・アレルギーを持っている子どもに関しては、主治医からの指示書に基づいて間違いがないように、保護者・担任と連携して安全な給食の提供に努める。

### (4) 子育て支援部門

- ・ふれあいセンター（地域の交流施設）において、未就園児を対象に行っている子育て支援の内容を充実させると共に、参加者の子育てに対する不安などを相談してもらうことで、参加してよかったという気持ちや、次も参加したいという気持ちができるよう努力する。家に閉じこもらず、外に出て様々な人と関わりを持つことで、悩みを分かち合ったり、解決し合ったりすることができるようなきっかけづくりをしていきたい。また、新しい試みとして、地域の体育館等を貸し切って園児と共にリズムを楽しむことができればと考えている。ごしょの保育園の魅力を地域にアピールできるような活動の提供ができればと考えている。

加えて、29年度も保育園での給食試食会を行う中で、食事に対する不安や疑問はもちろん、子育てに関する悩みを解決できるお手伝いができればと考えている。

- ・在園児に関しては、通年を通して希望があった保護者に対して個人面談ができるよう対応することに加えて、1～3月にかけて全園児の保護者を対象に個人面談を行う予定である。保護者の方に園への理解を深めていただくと共に、進級に対しての不安が少しでも解消できるよう、気持ちに寄り添った支援をしていきたいと考えている。

### (5) 地域交流部門

- ・28年度は、同地区の小学校1年生、幼稚園の年長児、保育園児（5歳児）が、小学校の体育館にて交流の場を設けることができた。29年度は、より有意義な交流ができるようしっかりと連携のねらいを持って関わるができるようにしていきたい。
- ・同地区の中学校、高校からは、地域の方も参加する避難訓練に呼んでいただいた。29年度も引き続き交流していただくことができるよう、また受け身だけの参加にならないよう、様々な行事等を通して積極的に連携をとっていきたい。
- ・28年度に同地区に設立された障害児入所施設の職員や子ども達との交流がほとんどできていなかったため、29年度からは各行事の際にご案内状を送付し、参加していただけるような取り組みをしていきたいと考えている。両園に無理のない形で少しずつ交流を深めていきたい。



## (6) 姉妹園交流部門

- ・27年度、28年度と、年に1回ずつ監査の情報交換と栄養士の会を行うことができた。今後は、保育、衛生の分野でも定期的に情報交換を行いながら、保育の質の向上に努めていきたいと考えている。

## 6. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数(平成29年4月1日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	28年度継続児	29年度新入児	合計
0歳児	4	29	33
1歳児	30	3	33
2歳児	32	1	33
3歳児	31	2	33
4歳児	34	0	34
5歳児	31	0	31
合計	162	35	197

### (2) 職員数(平成29年4月1日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理補助	事務員	看護師	合計
正職員	1	19	0	2	0	1	1	24
嘱託職員	0	3	0	0	0	0	1	4
パート職員	0	20	1	0	3	1	0	25

## 7. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入日	
	おおきくなったねおめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	保育園懇談会・ごしょの会総会	保育園や保護者会の昨年度の活動内容報告や今年度の方針について話し合う。
5	端午の節句集会	みんなで端午の節句をお祝いする。
	内科検診	3回に分けて園医の細谷先生に来ていただき検診を受ける。
6	保育参観・参加	お子さんと一緒に保育園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。
	歯科検診	園医の平塚先生に来ていただき、検診を受ける。
	お泊り保育	年長児が岩城少年自然の家で一泊する。
7	七夕集会	子ども達の願いを短冊に書いて飾り、行事の由来について知る。
	夏まつり	園児とその家族と地域の方で、夏まつりを楽しむ。
	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園児を応援しに行く。

9	運動会	御所野小学校のグラウンドや体育館で運動遊びや競争をして楽しむ。
	自由保育参観・参加週間	保護者の方にも“1日保育士”になってもらい、保育に参加してもらう。
10	遠足	学年ごとに園バスに乗って出かける。 (3歳以上児は家庭からお弁当を持参)
	内科検診	3回に分けて園医の細谷先生に来ていただき検診を受ける。
	子育て支援 給食試食会	未就園児と保護者が保育園に来て給食を試食する。
12	発表会	普段の保育園での生活で身に付けたことを演目の内容に組み込み、秋田テルサにて行う。
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。
1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いする。
	給食試食懇談会・ごしよの会総会 個人面談(1~2月にかけて全世帯)	保育園や保護者会の今年度の活動内容報告をしたり、給食を試食してもらう。
2	かわしり保育園との交流	雪遊びやふれあい遊びをしたり、給食を一緒に食べたりする中で、かわしり保育園児との交流を楽しむ。
	節分集会	みんなで集会をして節分についての由来を知る。
	年長保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるものを親子で力を合わせて作ったり、歌や詩を聞いてもらったりする。クラス懇談会では、卒園前の子ども達の様子についてお伝えする。
3	ひなまつり会	みんなで集会をして、ひなまつりの由来を知り、お祝いする。
	卒園式	シルバーアリアの多目的ホールで、年長児の卒園をお祝いする。

#### 8. 各種会議(職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等)

会議名	頻度
申し送り	日2回
職員会議	月1回
厨房会議	月1回
担任クラス会	月1回以上
クラス会 (園長・主任・副主任・担任・補助保育士参加)	月1回
園長・主任・副主任会議	その都度
ケース会議	その都度
チーフ会	議案が上がる都度

## 9. 研修計画

### 【園内研修・研究】

- 第三者評価に向けて園内で共通理解を図るため、定期的（月1回）にマニュアルをもとに勉強会をしていく。
  
- また、テーマを設けて資料作りを伴う研究を、経験年数別に行いたいと考えている。
  - 例えば...       1年目 絵本に関する研究（簡単な資料作成）
  - 3年目 保護者対応について
  - 5・10年目 大まかな園のその年のテーマをもとに、自分で研究テーマを絞る
  
- 保育所保育指針の改定に伴い、白梅大学の汐見教授をお招きし、かわしり保育園と合同で園内研修を行う。
  
- 国際教養大学から車で15分の距離に位置することで、ここ数年の間に外国人のお子さんの入園希望や一時預かりの希望が何件か寄せられている。今後もこのような希望が増えることを予想し、職員の英語力を養うことができると考えている。研修として、勤務時間も利用しながら勉強することができる環境作りを考えていきたい。

【園外研修】

月	研修名	月	研修名
4	秋田市地区保育士会総会	10	後期南部地区幼保小連絡協議会
	施設長会		給食担当者部会
	園長等運営管理協議会		研究部会
	教頭・主任等研修会		阿久和(阿久和キッズ)・西柴保育園運動会
	新規採用者研修会		
	10年経験者研修		
5	給食担当者部会	11	主任保育士部会
	主任保育士部会		研究部会
	研究部会		教頭・主任等研修会
	看護師部会		新規採用者研修会
	施設長会		
6	主任保育士部会	12	阿久和(阿久和キッズ)・西柴保育園発表会
	調理員部会		研究部会
	研究部会		施設長会
	幹事会		
	10年経験者研修		
7	給食担当者部会	1	給食担当者部会
	前期南部地区幼保小連絡協議会		研究部会
	主任保育士部会		保育所(園)長研修
	研究部会		新規採用者研修会
	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		10年経験者研修
	阿久和保育園夏祭り見学		
	10年経験者研修		
新規採用者研修会			
8	主任保育士部会	2	主任保育士部会
	研究部会		研究部会
	10年経験者研修		南部地域子育て支援ネットワーク連絡会
	就学前・小学校地区別合同研修会		
9	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会	3	かわしり・阿久和・阿久和キッズ・西柴保育園卒園式
	調理員部会		
	乳幼児保育研修会		
	施設長会		
	10年経験者研修		
	新規採用者研修会		

\* この他にも、各職員の年度目標と照らし合わせながら、随時研修の申し込みをしていく予定。

以上

# 平成 29 年度 かわしり保育園事業計画

## 1. 事業内容

一時預かり事業  
延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

近隣の保育施設の増加、幼稚園の認定こども園化により、入所児童数の変動が予想されたが、現在の所、定員 60 名の所、71 名の園児が通園している。例年より少ない入所児童数ではあったが、平均入所児童数としては 66 名を超えた。

秋田市が保育園数、認定こども園数を増加させたことで保育士数の激減が各園で取り上げられた。かわしり保育園でも、4 月当初、職員 20 名のスタートとなり、保護者に心配をかけてしまうことも見られた。そこで、昨年度は一時預かり、他園からの休日保育の受付を行わず、園内の子ども達、保護者と密にコミュニケーションを取りながら保育していくように心がけた。その結果、大きな怪我もなく、事故もなく、運営することができた。

園内外の整備としては、園庭の砂場の補充、職員室の書庫の購入、3 歳児、4 歳児、5 歳児用のテーブルの購入、3 歳児用椅子の購入、2 階滑り台の設置、1 階ガス小屋の整備と少しではあるが、園内外の整備を行うことができた。

地域交流に関しては、地域の方々、保護者の方々のマンパワーを借りながら、交流することができた。小学校との交流、幼稚園との交流も以前に比べて多くなってきている。

基本方針としては、法人の保育理念である「子どもの最善の利益を第一として、家庭や地域との連携を図り、子どもの発達を促します」を念頭に掲げ、職員間で共通理解を図り、子どもの最善の利益を第一に考えた保育実践を行っていききたい。

## 3. 重点施策

(1) 園内研究の更なる深みを目指す。～子どもの最善の利益について再度、考察し、理解を深めていく。～

今年度取り上げた園内研究のテーマ「かわしり保育園をよりよく知ろう」というテーマを掲げ、職員間で話し合う機会を多く設けた。公開保育でもクラス担任が考える子どもの最善の利益についての資料を持ち寄り、話し合った。次年度も引き続き、内容を深めていきたい。

- (2) 運動遊びの強化を行う。～体を動かすことを嫌がらない子ども作りを目指す。～  
 近年、子どもの体力低下が目立つ。竿燈に参加する子どもも体力がない、筋力がない子どもが目立つ。家庭でも知育的な学びはできるものの、運動に関してはどうしたら良いか分からないと話す保護者も見られる。

そこで、今年は、秋田でタレントとしても活動している後藤 良さんに協力をお願いし、運動遊びを兼ねたカポエイラ教室を行っていききたい。(月1～2回の開催予定)運動ができる、できないに関わらず、先生や友達と体を動かす楽しさを感じられる子どもに育てていきたい。

またごしょの保育園で行っているリズム遊びを取り入れることを視野に入れ、まずは、職員交流も行い、リズムについての知識を取り入れていきたい。

- (3) 園内外の修繕～園舎建て替えまで耐えられる園内外の修繕を行う。～

民間移管し、7年目を迎える。園内外の老朽化に伴い、外壁工事、中庭整備、園内の整備を行う。また園児用の椅子(4、5歳児用、2歳児用)園児用テーブル(2歳児)の備品購入を行う。

また、今年は栄養士用のパソコン購入、2歳児への月刊誌購入、2階階段への転倒防止用柵の設置も行う。

- (4) 姉妹園との積極的な交流

ごしょの保育園と共に、よりよい保育園を目指し、衛生面(看護師の会)食育面(栄養士の会)保育面(主任・副主任の会)などを設定し、交流を深めていきたい。また交流するにあたり、どんなことを学び、どんなことを当園に活かしていきたいのか、明確にし、前向きな交流になるようにしたい。

#### 4. 施設整備及び備品等購入計画

##### (1) 施設整備

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
外壁工事	竿燈後	5,000,000円	外壁に鉄筋の亀裂があり、修繕及び塗装が必要のため
中庭工事	春頃	2,500,000円	現在の建物はコンクリートにマットがあるのみ。危険なので人工芝を貼り、リニューアルさせたい。
園内整備	春頃		保育室の扉などの修繕箇所が増えてきたため。外壁工事と含めて相談中。
園バス購入	春頃	2,240,000円	ごしょの保育園所有の園バスを共同で購入し、バスでのお出かけを園の特色としていきたい。

## 5. 部門別保育年度達成目標

### (1) 乳児保育部門

0歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味をもち、安心できる保育者の元で生活できる子どもを目指します。

1歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味をもち、安心できる保育者の元で友達とのやりとりを楽しむ子どもを目指す。

2歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味を持ち、安心できる保育者の元で友達とのやりとりを楽しみ、情緒の安定を図り、生活できる子どもを目指す。

### (2) 幼児保育部門

3歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味を持ち、安心できる保育者や友だちとのやりとりを楽しみながら、人と過ごす心地よさを感じながら生活する子どもを目指す。

4歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。気の合う友達と共に協力する喜びを分かち合いながら、共に生活する喜びを味わう。

5歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。保育士や友達と過ごす中で、自分で考え、行動し、規律を守って生活できる子どもを目指す。

### (3) 給食部門

- ・安全、安心、おいしい給食の提供を心がける。
- ・職員間で話し合いながら、厨房職員が中心となって、食育年間計画を作成する。
- ・年度末に子どもの嗜好調査を実施し、今後の改善に努める。
- ・栄養計算ソフトを使い、栄養価の確認をしながら給食の提供を行う。

### (4) 子育て支援部門

- ・5月より園開放を行う。昨年度より外部講師に依頼する日も設けた所、好評だったので、今年度も外部講師の講座を取り入れながら企画、立案を行う。
- ・講話会では、親子で楽しめる講話を検討する。
- ・昨年度は、一時預かり、他園の休日保育の受け入れが難しかったので、今年度は積極的な受け入れを行うようにしたい。

### (5) 地域との交流

- ・川尻本町との連携強化を目指し、竿燈練習を行う。職員間も本町の練習に加わる機会を設け、より積極的な交流を目指す。
- ・ごしょの保育園、山王幼稚園との交流を持ち、同年代の子ども達との出会いを楽しみながら交流する機会を持つ。
- ・地域の方々のマンパワーを活かし、より積極的な交流を目指す。

## 6. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数(平成 29 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	28 年度継続児	29 年度新入児	合計
0 歳児	2	13	15
1 歳児	11	2	13
2 歳児	10	1	11
3 歳児	11		11
4 歳児	13		13
5 歳児	11		11
合計	58	16	74

### (2) 職員数(平成 29 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	10	1				12
嘱託職員		2	1				3
パート職員		5		1	1	1	8

## 7. 行事計画

月	名称	内容
4	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなでお祝いします。
5	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
	親子遠足	親子で遠足を楽しみます。
	内科健診	嘱託医が園児の健康診断を行います。
6	歯科健診	嘱託歯科医が園児の歯科健診を行います。
	竿燈練習	川尻本町さんとの竿燈練習を始めます。
7	七夕集会	みんなで七夕を楽しみます。
	竿燈練習	卒園児と竿燈練習を始めます。
8	竿燈壮行会	竿燈に参加する年長児をみんなで応援します。
	竿燈参加	竿燈に年長児、卒園児が参加します。
	個人面談	お家の方とお子さんについて話し合います。(全園児)
	お泊り会	年長児が先生とお泊り会に参加します。
9	運動会	みんなで体を動かして楽しめます。
10	自由保育参観・参加週間	子ども達の普段の様子をお家の方に見て頂きます。
	内科健診	嘱託医が園児の健康診断をします。
11	講話会	講師をお招きしてお話しを伺います。
12	お楽しみ発表会	子ども達の姿をお家の方に見てもらいます。
	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しみます。



1	新年を祝う会	新年をみんなでお祝いします。
2	豆まき会	みんなで豆まきをします。
	ごしよの保育園との交流会	ごしよの保育園の子ども達との交流を楽しみます。
	個人面談	お家の方とお子さんの話をします。(希望者のみ)
	保護者会総会・懇談会	総会報告後、クラス懇談をします。
3	ひな祭り会	みんなでひな祭りをお祝いします。
	卒園式	年長児の卒園をお祝いします。
	お別れ遠足	卒園児がみんなでお別れ遠足を楽しみます。

・毎月、全園児が集まって誕生会をします。保護者も参加し、一緒にお祝いします。誕生会後、保育参観、給食試食も予定しています。

・毎月、避難訓練をして災害時に備えます。(不審者訓練・津波訓練も含む。)

・園バスを使ってバスでのお出かけを楽しみます。

・AAC主催の水泳教室、サッカー教室、カポエイラ教室、ラクビー教室、スポーツ教室に参加します。

#### 8. 各種会議(職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等)

会議名	頻度
職員会	月2回
クラス会	月2回
厨房会議	月1回
申し送り	週1回
ごしよの保育園との交流会(主任会、栄養士会、看護師会など)	不定期開催

#### 9. 研修計画

月	研修名	月	研修名
4	法人理念、保育理念、保育目標、保育方針	10	資料に基づいた公開保育(1クラス)を行う。
	について読み合わせをし、話し合いをもつ		
5	法人理念、保育理念、保育目標、保育方針	11	
	について読み合わせをし、話し合いをもつ		
6	法人理念、保育理念、保育目標、保育方針	12	資料に基づいた公開保育(1クラス)を行う。
	について読み合わせをし、話し合いをもつ		
7	法人理念、保育理念、保育目標、保育方針	1	資料に基づいた公開保育(2クラス)を行う。
	について読み合わせをし、話し合いをもつ		
8		2	資料に基づいた公開保育(1クラス)を行う。
9		3	厨房の実践発表を行う。

- ・指針改定に伴い、白梅大学 汐見教授をお招きし、ごしよの保育園と合同研修を行う。
- ・怪我や病気に対する対応について専門家を招き、話を伺う機会を持つ。

#### 外部研修

- ・職員面談の際に、どんな研修に参加したいか、話し合いを持ち、参加への検討を行う。(非常勤職員も研修に参加できる機会も多く持つ。)

以上

# 平成 29 年度 阿久和保育園事業計画

## 1. 事業内容

保育事業 一時預かり事業 延長保育事業 地域子育て支援事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

### 保育園の状況

・今年度は通常の行事に加えて、突然の依頼である韓国教育団体の園見学・交流、「どーもくん」の訪問と交流、地域ケアプラザ主催の「65歳からの健康講座」など今までにない内容のものが加わり忙しい1年であった。その為、行事に追われがちになってしまい、もう少し通常のクラス保育を充実させていくべきであった。

設備環境においては、監査指導にて、0・1児室内の部屋とトイレの仕切りがないため、「感染が広がってしまう」との指摘があった。今後環境改善の1つとして検討していく必要がある。

地域社会の状況として、阿久和北部地区が取り組んでいる「こども食堂」に協賛し、お米の提供と当日の手伝いを行っている。阿久和ケアプラザとは、ホール貸し出しを行い、地域のお年寄りとの関わりのきっかけとなった。地域交流では、長屋門の「おやじの会」の方々と定期的に交流を持つことができ、また、新たに老人施設との関わりが増えた。

### 基本方針

- ・横浜市の中ではまだ、自然が残っている環境の中、四季を通じていろいろな体験をしながら、また、遊びを通して仲間との関係を育み、情緒の安定と人への信頼感が育つよう、一人一人の発達過程や心身の状態に応じた適切な援助及び環境構成を行っていく。
- ・園目標の「自然の中で、たくましく育ちあう子ども」を基本に瀬谷区の状況を踏まえ支援の必要な園児・保護者を丁寧に対応し保育を進めて行く。

## 3. 重点施策

### (1) クラス保育の充実

- ・子どもたち一人一人をしっかりと理解することに務め、こども達が主体となる保育を進めて行く。行事や集会等の参加方法なども考え、無理のない保育内容を考え取り組んでいく。
- ・それぞれの役割を自覚し、責任を果たすとともに、他の職員の立場や状況を十分に理解し、お互いに協力しあい助け合う。職員の協力体制、職員間で情報を共有していく。

- 職員それぞれの思いを受け止め、信頼関係を築く。
- クラス内外で積極的にコミュニケーションをとり、子どもにとってより良い関わりを一緒に見出していく。

(2) 職員の資質向上

- 専門性を高めるため、自らの人間性や社会性、専門職としての向上に努め、自己研鑽する。(基本的なリズム遊び、わらべ歌などの技術向上)
- 3園合同研修を行い保育のやり方など情報交換を行える研修を予定し、また、人事交流なども考えていく。
- 新人研修を昨年度から行い(年3回)、保育や園業務についての確認等が行えたので今後は定着させていく。今年度は2年目のフォローアップ研修として企画・開催を予定。

(3) 環境整備(保育室の玩具、遊具、絵本等)

- 各クラスの玩具や遊具の見直しをし、子どもたちに合った環境設定を考えコーナー作りなどを工夫していく。(年間で計画を立て、必要な玩具等を入れ替えていく)

(4) 行事、集会等の見直しと整理

- 行事や集会を一つ一つ丁寧に企画し、ねらいや目的をしっかりと定め子ども達が主体になれる内容を考え取り組んでいく。

(5) 地域交流(子育て支援)事業の取り組み

- 地域の方が参加しやすく、過ごしやすい環境整備を行う。連携機関との交流及び世代間交流(ケアプラザ、長屋門、老人施設)等を積極的に行う。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備(50万円以上を対象)

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
ICT環境整備 無線ラン設置	4～5月	1,500,000	保育事務作業の効率化を図り 情報共有と安全性の強化
0・1歳児室トイレの 防臭・感染防止設備	6～7月	2,400,000	0・1歳児室とトイレの囲み工 事により感染予防と防臭策
外壁の塗装	4/中～5/中 or 9/中から 10/中	6,500,000	建物の外壁塗装と メンテナンス
2階ホールカーテンレ ール設置	5月～6月	100,000	2階ホールの壁側おもちゃの 目隠しをするため

## (2) 備品購入計画

備品名	時期	予算(概算)	理由
巧技台セット	5月～6月	560,000	巧技台の劣化の為(ささくれ等がひどく危険なため)

## 5. 部門別保育年度達成目標

### (1) 乳児保育部

- 0歳児：一人一人のリズムを大切に、保育者との信頼関係をつくり、甘えや欲求を満たす。行事参加の仕方を考え、クラス保育の充実を図る。  
玩具と部屋の使い方の見直しをして、子どもたちが過ごしやすい環境作りをする。
- 1歳児：一人一人の発達に配慮しながら、安心できる保育士との関係のもとで日々の生活を通して自分でしようとするようになる。いろいろなことに対する興味関心が広がる。  
玩具と部屋の使い方の見直しをして、子どもたちが過ごしやすい環境作りをする。行事参加の見直しを行い、クラス保育の充実を図る。
- 2歳児：安心できる保育士との関係のもとで、個々の意欲や気持ちを受け止めてもらい簡単な身の回りの活動を自分でしようとするようになる。  
玩具の見直しをして、こども達が遊び込めるものを提供できるような環境作りをする。行事参加の見直しを行い、クラス保育の充実を図る。

### (2) 幼児保育部門

- 3歳児：基本的な運動能力が伸び、食事、排泄、着脱などの生活習慣がほぼ身につく。  
身近な人や友達との関わりも広がり、ごっこ遊びや模倣遊びの楽しさが分かってくる。異年齢交流をしながら、クラス保育の充実を図る。
- 4歳児：安定した母子集団の中、身近な人と自分の要求や思いを言葉や行動で相手に表現しながら、他者を受容する感情が育ち友だちとのつながりが強まり。  
異年齢の子どもに関心を持ち、関わりを広める。
- 5歳児：生活やあそびの中で、達成感や充実感を味わう経験をし、目標に向かって友だちと力を合わせて活動する。アプローチカリキュラムのもと就学に向けて意欲的に生活する。

### (3) 給食部門

- アレルギー対応の実施
- 年間食育計画に基づいた取組の実施(子育て支援活動含む)
- 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
- 調理員ミーティングの定期的な開催(横浜姉妹園との調理員会議も含む)

(4) 地域交流、子育て支援事業

地域親子の参加人数の増加

多目的ホールの環境改善

(地域のおもちゃの補充、充実。お茶などの飲料水の提供)

0歳児のお子さんの参加が増え、ミルク等の準備ができるようにまた、水分補給も家庭から持参しなくても済むような環境を作り、気軽に遊びに来ていただけるようにするため。《ウォーターサーバーの設置》

育児講座、交流保育の充実

竹の子掘りじゃが芋掘りさつま芋掘り、親子体操の定着

地域子育て支援者との交流

育児講座、幼児体操の開催

子育て関連施設との連携

阿久和ケアプラザ(65歳からの健康作り講座)

長屋門(おやじの会の方が行う「昔遊びの会」)

地域老人ホームとの交流

地域小学校、保育園、幼稚園との交流

「こども食堂」協賛(お米の提供と手伝い)

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成29年4月1日の見込み数)

(単位:人)

年齢別区分	28年度継続児	29年度新入児	合計
0歳児	0	14	14
1歳児	14	2	16
2歳児	16	0	16
3歳児	16	0	16
4歳児	16	0	16
5歳児	17	0	17
合計	79	16	95

(2) 職員数(平成29年4月1日の見込み数)

(単位:人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	2	0	0	0	17
嘱託職員	0	2	0	0	1	0	3
パート職員	0	9	0	1	1	0	11

## 7. 行事計画

月	名称	内容
4	入園進級の日	進級、入園をお祝いする。
	0歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	タケノコ掘り	地域の方の山にて筍堀を行い収穫を喜ぶ。
	1・2歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
5	こどもの日集会	各自制作した鯉のぼりを持参し成長を祝い喜ぶ。
	桜餅作り昔遊びの会	桜餅作りとおやじの会の方々と伝統遊びを体験する。
	3・4・5歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	ランランデー	瀬谷区内の保育園(5歳児)との交流を図る。
	園児健康診断	嘱託医による園児の内科検診を行う。
	お弁当遠足	お弁当を持参し幼児クラスが公園に散歩に行く
6	歯科健診	嘱託医による園児の歯科健診を行う。
	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
	避難訓練・防災訓練	避難訓練の後、消防署による防災訓練が開かれ参加。
	交通安全指導	横浜市職員による映画や着ぐるみでの交通安全指導
	ごっこ遊び	ごっこ遊びを通して異年齢児との交流を楽しむ。
	ジャガイモ掘り	地域の方の畑にてジャガイモ堀を行い収穫を喜ぶ。
7	プール開き	プール遊びを安全に楽しく行うための約束の確認
	七夕集会	七夕の由来を知り笹に短冊や飾りを付け集会を楽しむ
	体育指導	色々な動きをしてみよう。跳び箱の動作の確認。
	夏祭り	父母の会主催で和太鼓、ソーラン節を楽しむ
	科学遊び	身近な素材を用いて科学遊び玩具を作り体験する。
8	納涼祭り	夏ならではの遊びお化け屋敷や相撲などを楽しむ
	プールじまい	約束を守って楽しく遊べたか確認、プールを清める。
9	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
10	運動会	練習してきた運動遊びや演技を披露して見て頂く
	さつま芋掘り	地域の畑にてさつま芋掘りを行う。
	お弁当遠足	2～5歳児お弁当を持参し公園遊びを楽しむ。
	ヤマト運輸安全教室	交通ルールを教えて頂き、乗車体験を楽しむ。
11	秋祭り	収穫した自然物を使って遊びを楽しむ。
12	発表会	日々のごっこ遊びや歌などを保護者の前で発表する。
	マジックショー	手品を楽しむ。
	お楽しみ会	職員の出し物サンタ登場でクリスマスを楽しむ
	餅つき	餅つきを体験し新年を迎える準備をする。
1	子ども新年会	お正月遊びを体験し新年の集まりを楽しむ。
	影絵	影絵の不思議な世界を見て年長児は参加し楽しむ
2	節分	地域のお友達と一緒に節分を楽しむ。
	5歳児懇談会	1年のクラスの様子と共に就学について話す。

	0・1・2・3・4 歳児懇談会	1年のクラスの様子を話すと共に進級に向けて話す。
	人形劇	人形劇を見て楽しむ。
3	お別れ遠足	5歳児と園外保育を楽しみ思いで作りをする。
	ひな祭り	ひな祭りの由来を聞き、女の子の節句を祝う
	さくらお別れバス遠足	5歳児が園バスで、最後のお弁当遠足を楽しむ。
	お別れ会	年長児の卒園をみんなで喜び合い祝う。
	卒園式	年長児の卒園を喜び祝う。

毎月行う行事 ・誕生会 ・避難訓練 ・身体測定

#### 8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	月/1回
カリキュラム会議	月/1回
乳児会議	月/1回から3回
幼児会議	月/1回から3回
非常勤会議	月/1回
調理員会議	年間/3回程度

#### 9. 研修計画

月	研修名	月	研修名
4	園内研修（マニュアルの確認）	10	横浜市こども青少年局主催研修
	社会福祉協議会園長合同研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	幼保小連携会議		横浜女子短期大学主催研修
			幼保小第2回ブロック別研修会
5	幼保小第1回ブロック別研修会	11	横浜市こども青少年局主催研修
	保育所職員定例研究		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	衛生管理講習会		横浜女子短期大学主催研修
	防災研修		
6	横浜市こども青少年局主催研修	12	横浜市こども青少年局主催研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	幼保小全体研修		横浜女子短期大学主催研修
	横浜女子短期大学主催研修		社会福祉協議会保育福祉部会研修
7	横浜市こども青少年局主催研修	1	横浜市こども青少年局主催研修
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		瀬谷区こども家庭支援課主催研修
	横浜女子短期大学主催研修		横浜女子短期大学主催研修
			保育所職員定例研究
8	西部地域療育センター研修会	2	保育所職員定例研究
	横浜女子短期大学主催研修		瀬谷区ネットワーク研修
			ブロック別研修会



9	横浜市こども青少年局主催研修	3	保育所職員定例研究発表会
	瀬谷区こども家庭支援課主催研修		幼保小連携会議
	横浜女子短期大学主催研修		
	幼保小連携会議		

以上

# 平成 29 年度 西柴保育園事業計画

## 1. 事業内容

- ・ 保育所の経営
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 地域子育て支援事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

横浜市からの民間移管から 7 年目を迎える。園舎の築年数が 46 年を経過し、老朽化が進んでいること、また、そのことによって修繕工事が増えつつあることから、仮園舎の建設、本園舎の建替えを本格的に進めている。

依然として定員(60名)割れが続いているが、その理由に、一昨年度(平成 27 年度)の反省を活かし、乳児クラスの受け入れ児童数を制限したことがあげられる。上記の園舎建て替えが現実化され、保育室の環境整備が整えば、定員割れの問題は解消方向に向うと思われる。

また今年度は職員体制の充実化を図る。主任の交代、新規採用と不安や課題はあるものの、職員間での十分な話し合いや園内外の研修への参加を通し、保育の質の向上に努める。

### 基本方針

地域に根ざした保育運営を志し、地域交流、育児支援を積極的に展開していく。

自然豊かな環境と公的な施設・公園等を活用することによって、子ども自らが自発的に活動し、周囲の子どもや大人と関わっていくことが出来る様々な経験を積んでいかれるように保育の計画、実践に努める。

## 3. 重点施策

### (1) 人材育成の強化(職員体制を充実、安定させ、保育の質の向上に取り組む)

子どもの最善の利益を考慮して保育するためには、職員の間観、子ども観などの総合的なものとして現れる人間性や保育所職員として自らの職務を適切に遂行していく責任に対する自覚が必要となる。上記内容を踏まえ、自己研鑽とそれを育てる仕組みとしての研修体制を整える。

○メンター制度の導入

新入職員（保育士）に指導・助言役（メンター）をつけ、日常の保育業務や職場内の人間関係等の相談にのりメンタルヘルスケアに努める。

○乳児リーダー・幼児リーダーの任命

乳児クラス（1・2歳児）、幼児クラス（3・4・5歳児）のクラス運営、職員関係を取りまとめ、乳幼児間や主任・園長との情報共有に努める。

○非常勤職員リーダーの任命

非常勤職員への「報告・連絡・相談」を徹底し、また非常勤職員の意見、要望を吸い上げてもらう立場とする。

○新入保育士研修（担当者：主任・園長）

新年度（4月）から3ヶ月間程度、午後の時間を活用し、「理念・方針」、「子どもの・大人の人権」、「マニュアルの読み合わせ」、「子どもの育成歴・家庭環境」、「保護者対応」等の勉強会を開催する。

○横浜の姉妹園との交流

横浜の姉妹園と調整したうえで、各種会議への参加、短期間の職員交換、小さな園行事への参観等、職員の交流を積極的に行なっていく。

（2）地域・育児支援専任の配置

主任を地域・育児支援専任とし、地域、育児支援の窓口とする。そのことにより、現行の園庭開放、育児相談、乳児室開放、体験給食、育児講座、地域交流の充実を図る。

（3）園舎（仮園舎・新園舎）整備の推移

子どもたちの安全と、保育活動の充実を見据え、また、保護者、地域住民の方々からの意見・要望を精査しながら、仮園舎建設、本園舎の建替えを進めていく。

○説明会等であがった意見、要望に対する対策案や手段等を積極的に情報公開していく。（町内・自治会掲示板、園掲示板、ホームページ、役所掲示板）

○仮園舎建設の工事に関しては、在園児のご家庭、地域の方々（通学路を使用する小中学生）の安全を確保し、整備を進める。

（4）第三者評価の受審

評価結果だけを意識するのではなく、“新たな気づき”を大切とする。良い点は伸ばし、改善が必要な点は早期に対応するなど、重点施策（1：人材育成の強化）に反映できるように取り組む。

○第三者評価の勉強会を定期的に行なう。その際に、各職員に問題意識を持ち、臨んで欲しいため、保育内容は保育士が、食育内容は栄養士が、経営内容は園長・主任が研修内容の取りまとめを行なう。

#### (5) 身体活動の充実

○横浜FCとのサッカー交流：昨年度同様の活動を行なう。

○リズム：月1回程度行なわれている横浜市のリズム研修に参加し、そこで学んだ内容を、西柴保育園のリズム活動に反映させる。

(29年度は、上記研修会のリーダーである石井先生を講師に招き、西柴保育園での園内研修を検討したい。)

○体操教室：横浜市体育協会、またはコスモスポーツクラブ指導員を招き、幼児クラスを対象とした体操教室を定期的実施する。

#### 4. 施設整備及び備品等購入計画

##### (1) 施設整備 (50万円以上を対象)

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
西柴保育園の仮園舎の設計・建設	平成30年1月～4月	50,000千円 (積立金取り崩し)	老朽化に伴う園舎建替え (第一期工事)

##### (2) 備品購入計画 (一品または纏めて50万円以上を対象)

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
予定なし			

#### 5. 部門別保育年度達成目標

##### (1) 乳児保育部門

- 1歳児
- ・園生活に慣れ、一日の保育の流れに沿って食事や睡眠・排泄などの生活の活動を保育者と一緒にする。
  - ・保育者とかかわる中で言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。
  - ・保育者との信頼関係をもとに、友だちへの関心を持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 2歳児
- ・担当保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする。
  - ・友だちとの関わりができ、一緒に遊んだり、行動したり、つもり遊びを楽しんだりする。
  - ・運動用具を使った遊びやリズム遊びを通して身のこなし方が分かっていく。

## (2) 幼児保育部門

- 3 歳児 ・ 感じたことや思ったことを友だちや保育者に話し、気持ちを共感してもらって嬉しさを味わう。また、相手の話に興味を持ち、聞こうとする気持ちを持つ。
- ・ 全身を使った遊びや指先を使った遊びの楽しさを知り、友だちと一緒に遊ぼうとする。
  - ・ 園生活での過ごし方が分かり、自分から進んで身の回りの支度や始末をしようとする。
- 4 歳児 ・ 加配認定の児が2名在籍予定なので、集団生活の中で個別対応の充実を図る。
- ・ 基本的な生活習慣やマナーを身に付け、自分のできることの範囲を広げ、意欲を持って楽しく生活する。
  - ・ 遊びなどの活動を通し、友だちと共通の目的を持ち、集団生活を楽しむ。
  - ・ 自然事象や環境に興味・関心を持ち、自分から関わり様々な経験の中で自己表現する力を身に付ける。
- 5 歳児 ・ 意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう。
- ・ クラスの友だちとの関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり、役割を分担したりしながら目的を成し遂げる喜びを味わう。
  - ・ 探究心が深まり、試したり、工夫したりして遊びを楽しむ。
  - ・ さまざまな表現を楽しみ、意欲的、創造的に遊びや行事に取り組む。

## (3) 給食部門

- ・ 年間食育計画に基づいた取組みの実施
- ・ アレルギー対応の実施（職員間の声かけ、連携、アレルギー面談）
- ・ 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
- ・ 食の安全に対する取組み
- ・ 家庭への働きかけ（毎月の献立配布、4期に分けての食育だより、今日の献立の写真紹介、食材産地紹介、おすすめレシピ紹介、給食参加の呼びかけ）
- ・ 育児講座において地域未就園児家庭に離乳食、簡単レシピなどの食育活動の充実

## (4) 地域交流・育児支援部門

- ・ 保育所（地域の三園との交流、キラキラかなざわっこスポーツフェスティバル）
- ・ 小学校（体験給食、学習フェスティバル）
- ・ 中学校（職場体験、総合学習、職場インタビュー）
- ・ 地域（公園愛護会との焼き芋会・花壇整備、ハッピーデイコンサート、正月あそび、西柴夕涼み会（夏祭り）参加、ふれあい生き生きサロン）
- ・ 育児講座（年4回 町内会館、金沢中部地区社会福祉協議会「親子の遊び場」と共催）

## 6. 児童数・職員数

### (1) 入所児童数(平成 29 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	28 年度継続児	29 年度新入児	合計
0 歳児			
1 歳児	0	8	8
2 歳児	6	4	10
3 歳児	9	3	12
4 歳児	13	1	14
5 歳児	13	1	14
合計	44	10	58

### (2) 職員数(平成 29 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	その他	合計
正職員	1	8	3		1		13
嘱託職員		1					1
パート職員		6				4	10
計	1	15	3		1	4	24

## 7. 行事計画

月	名称	内容
4	入園・進級を祝う会	新入園児、進級児童を祝う
	避難訓練	午前中の時間帯に地震を想定した避難訓練を行う
	4 月誕生会・茶道教室	4 月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
	5 歳児 すみれ組 懇談会	クラス担任と保護者との情報交換を行う
5	こどもの日の会	日本の伝統行事の意味や大切さを伝える
	春の健康診断	かわなこどもクリニックの川名先生による診察
	避難訓練・茶道教室	火災を想定した避難訓練・年間を通して茶道を学ぶ
	5 月誕生会・茶道教室	5 月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
6	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	6 月誕生会	6 月生まれの児童の誕生を祝う
	プール開き	安全祈願をし、子どもたちとプール遊びの約束をする
7	七夕の会	七夕の由来を知り、楽しんで行事に参加する
	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
	年長児 三園交流(第一回)	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園の三園交流
	7 月誕生会	7 月生まれの児童の誕生を祝う
	交通安全教室	交通安全指導に参加し、交通ルールを学ぶ
8	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ

	避難訓練	長時間保育中の火災を想定した訓練
	8月誕生会	8月生まれの児童の誕生を祝う
	おまつりごっこ	幼児の各クラスがお店を出しお祭りの雰囲気を楽しむ
9	防災訓練	警戒宣言発令を想定した訓練
	プール終い	安全に活動を終わられることを感謝し、個々の上達を称える
	歯科健診	かなざわファミリー歯科の黄先生による診察
	9月誕生会	9月生まれの児童の誕生を祝う
10	運動会	運動遊びの成果を参観者の前で披露し、皆で楽しむ
	運動会ごっこ	年中が主体となり、地域の方と一緒にごっこ遊びを楽しむ
	避難訓練	二次避難として、西柴小学校まで避難する
	10月誕生会・茶道教室	10月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
11	公園愛護会との焼き芋会	隣接した第一公園で焼き芋を行い、地域交流を行う
	三園交流	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会
	消防署立ち合いの避難訓練	通報訓練、消火器訓練、煙体験、防火服の着用体験
	11月誕生会・茶道教室	11月生まれの児童の誕生を祝う・茶道教室
12	お楽しみ会	日頃の表現活動を保護者や地域の方の前で発表する
	ハッピーデー	地域のハーモニカグループの演奏を聴き交流をもつ
	12月誕生会・茶道教室	12月生まれの児童の誕生を祝う・茶道を学ぶ
1	お正月遊びの会	祖父母や地域の方と一緒にお正月遊びを行い楽しむ
	年長すみれ組 懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
	茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
2	節分の会・茶道教室	節分の由来や豆まきについて話を聞き、豆まきを行う
	たんぼぼ・ゆり・ちゅうりっぷ懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
3	ひなまつりの会・茶道教室	ひなまつりの会を皆でお祝いする・茶道を学ぶ
	お別れ遠足（卒園児のみ）	保育園の思い出で作りとして遠足を楽しむ
	入園説明会	入園する保護者に説明、情報交換を行う
	卒園式	年長児の卒園を皆で祝う

#### 8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
職員会議	毎月
カリキュラム会議	毎月
乳児クラス会議	毎月
幼児クラス会議	毎月

## 9. 研修計画

### ○園外研修

- ・子ども青少年局 保育・教育人材課、金沢区保健福祉センター、全保協等が主催している研修に参加し、自己研鑽を行う。

### ○園内研修

- ・第三者評価受審に伴う園内研修
- ・横浜市リズム研修の情報共有（重点施策（5）参照）

月	研修名	月	研修名
4	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	10	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修（第三者評価）		・園内研修（第三者評価）
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
5	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	11	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修（第三者評価）		・園内研修（第三者評価）
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
6	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	12	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修（第三者評価）		・園内研修（第三者評価）
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
7	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	1	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修（第三者評価）		・園内研修（未定）
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修
8	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	2	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修（第三者評価）		・園内研修（未定）
			・横浜市リズム研修
9	・子ども青少年局、保健センター等主催研修	3	・子ども青少年局、保健センター等主催研修
	・園内研修（第三者評価）		・園内研修（未定）
	・横浜市リズム研修		・横浜市リズム研修

以上



# 平成 29 年度 阿久和キッズ事業計画

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況と基本方針

- ・ 28 年度は 1～2 名の空きがある状態でスタートしたが、6 月からは定員に達し運営することができている。28 年度は各クラス 2 人担任にし、フリー保育士として 2 名配置することができたため事務作業などを少しずつではあるが勤務時間内に行う体制がとれてきている。また、職員が急な休暇を取っても通常と変わらない保育も提供できている。地域の方、保護者の方とは保育運営の中で理解が得られないこともあったが、丁寧に対応し話をしていくことで理解を得ることができた。また、対応に困った時などは姉妹園や区役所に相談するなど昨年度より更に強いつながりを持つこともできるようになってきている。連携園である原幼稚園、三ツ境幼稚園とも連絡を取り合い、プール開放に参加したり、移動動物園に参加するなど保育を充実させる 1 つになっている。

### < 基本方針 >

- ・ 限られた敷地・保育環境ではあるが、日々充実した保育が行えるよう職員間で話し合い実践している。今後も姉妹園や連携園と連絡を密に取り、子ども達がより自然に触れ遊びを通して心身の発達や人への信頼関係・関わり方などを習得していけるよう援助、環境設定を行っていく。
- ・ 園目標である「ふれあいの中で心豊かに育ちあう子どもたち」を常に心にとめ、一人一人の発達段階を踏まえ丁寧な保育に取り組んでいく。また、保護者に対しても気持ちに寄り添い安心して利用していただけるよう連絡を密にとっていく。保育運営においても繰り返し伝えながらご理解とご協力を得られるよう努めていく。

## 3. 重点施策

### (1) 人材育成と職員体制の見直し

園長の交代、職員の入替わりにより職員体制をもう一度見直していかななくてはならない。職員が入替わったことで保育の質が下がらないよう現在の保育の質を維持しながら更に保育の質を高めていけるよう、一つ一つ確認し共通理解を深めていく。また、研修にも多く参加し個人のスキルアップにも努めていく。

29年度はリーダー職も配置し、様々な保育の場面で中心になって話を進めたり若手保育士の悩みや保育の助言なども行えるようにしていく。また、園長との情報共有に努め、園長不在の折には中心になって保育を進めていく。

(2) 土曜保育の確立

29年度より土曜日も11時間開所となるため土曜保育の進め方、職員配置などをよく話し合い、子ども達が安心して過ごせるよう環境整備などの充実を図る。

(3) 地域交流の充実

連携園との交流を引き続き深めていきながら、その時に必要な配慮や準備などをしっかりと記録し交流が定着していけるよう取り組んでいく。

また、原幼稚園と三ツ境幼稚園に関しては卒園後の受け皿になっていただくだけではなく、こちらからもどのような連携が取れるか保育を考え2園に積極的に提案していき、交流を深めていく。

(4) 保育内容の見直し

28年度は生活スペースをしっかりと分けたことで年齢に合った生活や体験ができたが異年齢交流の場が多少減ってしまったようにも思われる。29年度は年齢別保育内容の充実を図りながらも異年齢での関わりも十分持てるよう保育の内容を考え取り組んでいく。また、2月に行う保護者アンケートの結果を参考にしながら保育の見直しを行っていく。

4. 施設整備及び備品等購入計画

(1) 施設整備

備品名	時期(予定)	予算(概算)	理由
ゲート	年度初め	¥200,000	各クラス保育スペースの環境整備のため
サークル	年度初め	¥150,000	各クラス保育スペースの環境整備のため
棚	年度初め	¥150,000	各クラス保育スペースの環境整備のため

(2) 備品購入計画

備品名	時期	予算(概算)	理由
キーボード	年度初め	¥50,000	リズム遊びなど表現力の発達や情緒を豊かにするため。

5. 部門別保育年度達成目標

(1) 乳児保育部門

0 歳児：保育者とのふれあいの中で生理的欲求が満たされ安心して園生活を送ることができる。(睡眠、排泄、離乳食の完了、遊びなど個々に合わせて進めていく。)

1 歳児：保育者に見守られながら基本的な生活習慣を身に付けていく。生活や遊びの中から保育者や友だちと経験を共有することで身近な人に興味を持ったり時には自己主張をしながら欲求を満たしていく。

2 歳児：保育者に見守られながら基本的な生活習慣を身に付け自分で行うことの充実感達成感を味わう。保育者や友だちと関わって遊ぶ中で自分以外の事物に興味や関心を持ち、見たり触れたりして楽しむ。自分の思いを言葉にして相手に伝えようとする。

(2) 給食部門：安全に配慮しながら食育の内容の充実を図る。

アレルギー対応は誤食誤飲を起こさないよう十分気をつけていく。

また、家庭との連携を図りながら献立を検討し対応していく。

安心安全な給食を提供できるよう丁寧できめ細やかな給食づくりに努める。

一人一人の状況に合わせて離乳食を進めていく。

6. 児童数・職員数

(1) 入所児童数(平成 29 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

年齢別区分	28 年度継続児	29 年度新入児	合計
0 歳児	0	5	5
1 歳児	5	2	7
2 歳児	7	0	7
3 歳児			
4 歳児			
5 歳児			
合計			

(2) 職員数(平成 29 年 4 月 1 日の見込み数)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	4	0	0	0	0	5
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	4	1	1	0	0	6

## 7. 行事計画

月	名称	内容
4	各クラス懇談会	担任が子ども達の様子や1年間の抱負などを話し、保護者の方にも自己紹介などをしていただく。
5	子どもの日集会	担当保育士が「子どもの日」の由来などを話し、子どもの日にちなんだ物を見て楽しむ。
	内科検診	囑託の先生に健診していただく。
6	ごっこ遊び	阿久和保育園のごっこ遊びに参加し、交流を楽しむ。
	プール開き	プール遊びの際の約束事を確認する。
7	(夏まつり)	阿久和保育園と検討をし可能な形で参加する。
	プール開放	三ツ境幼稚園の地域開放に参加。普段と違うプールで遊び楽しむ。
	七夕集会	七夕についての話を聞き、みんなでお願いをする。
8	すいか割り	夏の遊びの一つとして体験を楽しむ。
	プールじまい	プール遊びが終わりになることを伝え、みんな楽しく遊べたことを振り返る。
	プール開放	三ツ境幼稚園の地域開放に参加。普段と違うプールで遊び楽しむ
9	歯科検診	囑託の先生に健診していただく。
	引き取り訓練	避難訓練の一つとしてお迎えの時に保護者の方にサインをいただき、子どもを引き渡す。
10	運動会	阿久和保育園の運動会を見学し、地域のかげっこの中でキッズの子ども達がまとまって走る。保護者競技にも参加する。
	お弁当遠足	お弁当を持って出かけ、秋の自然の中で身体をたくさん動かして遊ぶ。
	さつまいも掘り	阿久和保育園の地域交流に参加し、さつまいも掘りを楽しむ。
	ハロウィン	阿久和保育園の地域交流に仮装をして参加し楽しむ。
	交通安全指導	交通安全について興味を持つ。
11	親子で遊ぼう会	親子で登園し、触れ合える遊びやダンス、制作など一緒に楽しむ。
	移動動物園	原幼稚園の地域交流に参加。小動物に興味を持ち、ふれあいを楽しむ。
12	マジックショー	阿久和保育園の地域交流に参加。不思議なショーに興味を持って参加する。
	お楽しみ会	阿久和保育園の地域交流に参加。サンタさんからプレゼントをもらいクリスマスを楽しむ。
	お餅つき	阿久和保育園の地域交流に参加する。

1	子ども新年会	担当保育士がお正月遊びなどを紹介しながらお正月というものを話し、1年間みんなで楽しく過ごしていけるよう伝える。
	影絵	阿久和保育園の地域交流
2	豆まき	豆まきをし、無病息災を願う。
	各クラス懇談会	1年間の成長や進級・卒園に向けての話をする。
	人形劇	阿久和保育園の地域交流に参加し人形劇を楽しむ。
3	ひな祭り	ひな人形を作り担当保育士がひな祭りについて話す。
	お別れ遠足	2歳児と一緒に弁当を持って戸外遊びを楽しむ。
	卒園式	卒園をみんなで祝いする。

#### 8. 各種会議（職員会議、カリキュラム会議、アレルギー会議等）

会議名	頻度
アレルギー会議	月1回 月末
カリキュラム会議	月1回
職員会議	月1回
ミーティング	必要に応じて

#### 9. 研修計画

月	研修名	月	研修名
4	園内研修	10	園内研修
			自閉症スペクトラム障害の理解
			メンタルヘルス研修
5	園内研修	11	園内研修
	園内研修リーダー育成研修		中堅保育士研修
	衛生管理講習		子育て支援研修
			リーダー研修
6	園内研修	12	園内研修
	乳児保育研修（0歳児）		メンタルヘルス研修
	障害の理解基礎編		リーダー研修
7	園内研修	1	園内研修
	乳児保育研修（2歳児）		
	ファシリテーター要請講座		
	食物アレルギー講習		
8	園内研修	2	園内研修
	乳児保育研修（1歳児）		乳児食講習会
	家庭支援論研修		栄養管理研修
9	園内研修	3	園内研修
	リスクマネジメント研修		
	18区合同研修（あそびネタセミナー）		
	リーダー研修		

以上